

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
令和元年8月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕8月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス35 前月比プラス4ポイントの改善
～依然マイナス30台の厳しい状況が続く～
- ◆ 売上高D I 値を除く他の主要調査項目D I 値が改善

〔Ⅱ〕8月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転0、悪化35で、D I 値はマイナス35となり、前月のD I 値マイナス39に対し、4ポイントの改善となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス44となり、前月比6ポイントの改善、非製造業のD I 値はマイナス26となり、前月比1ポイントの改善となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては製麺、婦人・子供服、紙加工品の3業種(前月比+2業種)であり、悪化したとする業種は、擦糸の1業種(前月比-4業種)となった。

また、非製造業において改善したとする業種は、大垣市商店街、高山市商店街、貸植木業の3業種(前月比-2業種)であり、悪化したとする業種は、電設資材卸、青果販売、生花販売の3業種(前月比±0業種)となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス34で前月比4ポイントの悪化、販売価格D I 値はマイナス6で前月比1ポイントの改善、収益状況D I 値はマイナス32で前月比6ポイントの改善、資金繰りD I 値はマイナス5で前月比6ポイントの改善、雇用人員D I 値はマイナス16で前月比2ポイントの改善となった。

コメントを見ると、製造業では、「自動車の売れ行きが非常に悪くなっており、見込み生産をしていた人気車種の生産もストップして、稼働率も本来の3割程度となる企業も発生しており、非常に厳しい現況である。(ニット工業)」、「景況悪化の要因は、陶磁器、タイル用坯土製造出荷量の減少が挙げられる。(窯業原料)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「電気の引込工事は前年比1.3%増加。(電気工事)」、「売上高は、前年同期に比べ10.8%増加。(土木(岐阜地区))」などプラスの内容が報告された一方で、「今年はお盆連休もあり、減少となった。お盆後も入荷量は少なく推移した。今年も猛暑で今後の産地の生育が気になる。(生花販売)」、「盆前は一時的な繁忙により車両確保困難な状況になったが、盆明け後は輸送量が減少し前年対比では減少。(貨物運送(岐阜地区))」などマイナスの内容が報告された。

また、消費増税に関連するコメントでは、「消費増税を控え、民間の建売が急増している。(管設備工事)」、「10月の消費増税によりリフォーム物件が多く9月中に完成しなければならない件数が増大している。(室内装飾)」といった内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加11、減少45でDI値はマイナス34となり、前月のマイナス30に対し、4ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は8業種（前月比－1業種）あり、製造業では**婦人・子供服、機械すき和紙、特殊紙**、非製造業では、**電設資材卸、高山市商店街、土木（岐阜地区）、電気工事、木造建築**である。

売上高が減少した業種は32業種（前月比＋2業種）あり、特に**繊維・同製品、窯業・土石、小売業、運輸業**の区分が多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇5、低下11でDI値はマイナス6となり、前月のマイナス7に対し、1ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は4業種（前月比－1業種）あり、製造業の**牛乳、縫製（既製服）、紙加工品、陶磁器（工業）**である。

販売価格が低下した業種は8業種（前月比－2業種）であった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化37でDI値はマイナス32となり、前月のマイナス38に対し、6ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は4業種（前月比＋2業種）あり、製造業では**銘木**、非製造業では、**電設資材卸、高山市商店街、木造建築**である。

収益状況が悪化した業種は26業種（前月比－2業種）であり、特に**食料品、繊維・同製品、窯業・土石**の区分が多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転0、悪化5でDI値はマイナス5となり、前月のマイナス11に対し、6ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は0業種（前月比±0業種）であった。

資金繰りが悪化した業種は4業種（前月比－4業種）であった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転2、悪化18でDI値はマイナス16となり、前月のマイナス18に対し、2ポイントの改善となった。

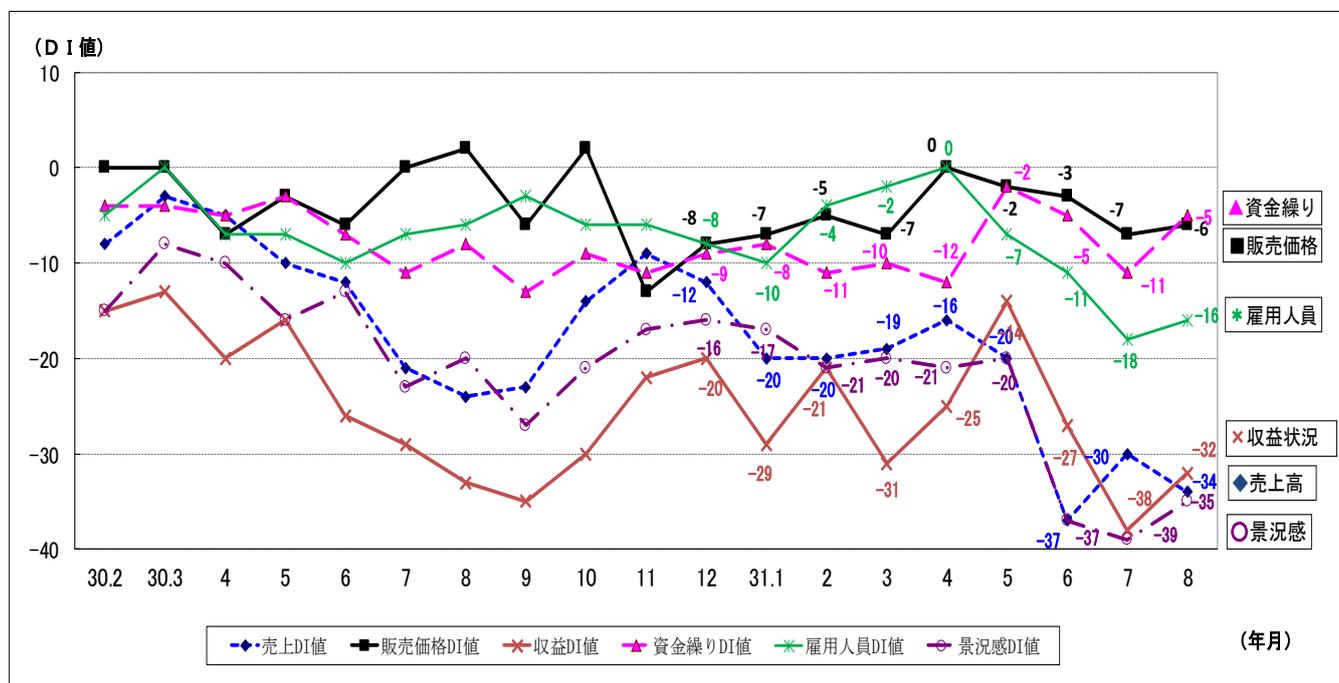
雇用人員が増加した業種は2業種（前月比±0業種）あり、製造業の**米菓、刃物等金属製品（内需）**である。

雇用人員が減少した業種は13業種（前月比－5業種）であり、**一般機械**の区分が多かった。

項目	DI値
景況	-35 (4)
売上高	-34 (-4)
販売価格	-6 (1)
収益状況	-32 (6)
資金繰り	-5 (6)
雇用人員	-16 (2)

カッコ内は前月比増減ポイント

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (8月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	△	▲	△	△	▲
	菓子	▲	△	▲	△	△	▲
	米菓	△	△	△	△	○	△
	製麺	▲	△	▲	▲	△	△
繊維・同製品	撚糸	▲	▲	▲	△	△	▲
	ニット工業	▲	△	▲	△	△	▲
	毛織物	▲	△	▲	△	△	▲
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	▲	△	△	▲
	婦人・子供服	○	▲	△	△	△	△
	縫製(既製服)	▲	○	▲	△	▲	▲
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	○	△	△	△
	家具	△	△	△	△	△	△
	東濃ひのき	▲	△	△	△	△	△
紙・紙加工品	機械すき和紙	○	△	△	△	▲	△
	特殊紙	○	△	△	△	△	△
	紙加工品	△	○	▲	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	▲	△	▲	△	△	▲
化学ゴム	プラスチック	▲	△	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	○	▲	△	△	▲
	タイル	▲	△	▲	△	△	▲
	窯業原料	▲	△	▲	△	△	▲
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砂利生産	△	△	△	△	△	△
	砕石生産	▲	△	△	△	△	△
	鋳物	▲	△	△	△	△	▲
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	○	△
一般機械	メッキ	▲	△	▲	△	△	▲
	県金属工業団地	△	△	△	△	▲	▲
	可児工業団地	▲	△	▲	△	▲	▲
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	△	△	△	△	△	△

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	○	△	○	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	▲	▲
	機械・工具販売	▲	△	▲	△	△	▲
小売業	青果販売	▲	△	△	△	△	▲
	水産物商業	▲	△	▲	△	△	▲
	家電機器販売	▲	△	▲	△	△	▲
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	△	△	△	▲	△
	石油製品販売	▲	▲	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)	△	△	△	△	△	△
	生花販売	▲	▲	▲	▲	▲	▲
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	△	△	▲
	商店街(大垣)	△	△	△	△	△	△
	商店街(高山)	○	△	○	△	△	△
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	▲	△	▲	▲	▲	△
	下呂温泉旅館	△	△	△	△	△	△
	高山旅館	△	△	△	△	▲	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	▲	△	△	△	△	▲
	広告美術	△	△	▲	△	△	△
	旅行業	△	△	△	△	△	△
	理容・美容業	△	△	△	△	▲	△
建設業	土木(岐阜地区)	○	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	△	△	△	△	▲	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	△
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	○	△	△	△	△	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
運輸業	木造建築	○	△	○	△	▲	△
	貨物運送(岐阜地区)	▲	△	▲	△	△	△
	軽運送	▲	△	△	△	△	△
その他の非製造業	貸植木業	△	△	△	△	△	△

凡例

○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

県内中小企業の景況動向グラフ(前年同月比)
(平成29年9月～令和元年8月)



(DI 値)

